

事務事業名	北海道土地改良事業団体連合会参画事業 <input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		法令根拠	
政策名	総合計画 0131 基幹産業の農業に対する強化・支援	所属部門	経済 部 農林 課 土地改良 係(グループ)	
施策名	0151 農業経営と農村生活基盤の強化・支援	課長名	谷保義明	担当者名 境野勝敏 529
基本事業名	21111111 農業生産基盤の整備	予算科目	会計 1 5 1 9 目 事業	土地改良事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 48 年度 ~ ) (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入			

事業概要	昭和33年に北海道土地改良事業団体連合会が創設され、北海道における土地改良事業の推進、国営事業の推進、道営事業の推進など土地改良事業の適切かつ効率的な運営を確保し、土地改良区、町、農協が実施する事業の技術指導援助(芽室町は昭和48年度から実施)、協力をし、更に土地改良負担金対策、支援事業(芽室町は平成13年度から実施)など農業農村整備事業の計画的な推進や農業者や地域社会の多様な要望など総合的な対応をしている。	全体計画 (単位:千円)	特定財源 一般財源 その他 事業費計(A) 正規職員従事人数 人件費 人件費計(B) トータルコスト(A)+(B)
------	--	--------------	--

1 現状把握の部(DO)		(1) 事務事業の目的と効果	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 技術援助・支援事業 17年度計画 16年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農地・受益者 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農地の整備・受益者償還軽減 結果(どんな結果に結び付けるのか) 農地が整備でき受益者負担額償還計画がなされ農業経営の安定が図られる。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	単位	
	ア 技術援助	人	
	イ 支援事業	戸	
	ウ		
	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	単位	
ア 農地	ha		
イ 受益者	戸		
ウ			
成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない	単位		
ア 農地整備	ha		
イ 受益者負担軽減	円		
ウ			
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	単位		
ア 農地整備完了	ha		
イ 受益者負担額	円		
ウ			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入費	特定財源	千円	4,574	4,141	2,495	3,865	3,850	3,850	
	一般財源	千円	4,103	4,410	4,530	6,426	6,430	6,450	
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	8,677	8,551	7,025	10,291	10,280	10,300	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2			
	人件費	千円	0	0	854	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,677	8,551	7,879	10,291	10,280	10,300	0	
活動指標	ア 人	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 戸	40	38	37	35	33	33	33	
	ウ								
対象指標	ア ha	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	
	イ 戸	40	38	37	35				
	ウ								
成果指標	ア ha	13,344	11,092	11,092	11,092	8,494	11,092		
	イ 円								
	ウ								
上位成果指標	ア ha	13,344	11,092	11,092	11,092	8,494	11,092		
	イ 円								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?
<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良事業の技術者を増員し事業効果を高める。</li> <li>事業費負担額の利子が高いので償還時に軽減策を模索。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元技術者が養成され、土地改良事業がスムーズに推進できるようになった。</li> <li>事業費償還がスムーズになった。</li> </ul>
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者は土地改良事業が計画通りに進捗する事に対し感謝している。</li> <li>負担者より負担額の軽減がされるので感謝されている。</li> </ul>	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷ ・農業基盤整備が進んでいる。 ・償還がスムーズである。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷ ・農地を整備する事で農家経営安定する。 ・償還対策が受益者負担軽減になる。	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷ ・現状で計画的に整備する必要がある。 ・高利子負担のため軽減対策が必要。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷ ・計画的に整備していかなければ農地が守れない。 ・十分ではないが利子軽減に役立っている。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ ・計画的に整備していかなければ農地が守れない。 ・高利子軽減で償還額削減につながる。	
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由] ・農地を整備する補助事業を計画的に導入していかなければ農地が荒廃する。 ・この支援事業でなければ償還軽減ができない。	
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ ・農地整備で最低限の農家負担の補助事業を導入している。 ・最低限の負担軽減策である。	
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷ 現状では最低限の工数である。	
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷ ・補助を受けた受益者は残額負担をし、事業実施結果の農業所得も向上するので町で維持管理経費を負担してもバランスは取れるので公平である。	

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  ・職員削減の中でも、農業基盤整備は継続しなければならず技術者は必要であるので最低限技術援助1名は継続していく。 ・現負担軽減策は必要で負担完了まで継続していく。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？